

教科	英語	学年	第2学年	担当者	四方 浩志
----	----	----	------	-----	-------

**【教科目標】**

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力の育成を目指す。

**【使用教科書・教材等】**

・教科書（「SUNSHINE ENGLISH COURSE 2」開隆堂）	・Talk & Talk book 2
・授業用ノート	・トーク&トーク用ノート
	・ファイル

**【学習計画】**

学期	単元名	学習のねらい（身につけたい力）	準備物
1 学 期	Program1 Start of a New School Year	・未来表現（be going to ～）の用法を理解し、週末の予定について表現することができる。 ・未来表現（will）の用法を理解し、次の日曜日にしようと思うことについて表現することができる。 ・接続詞（when, if）の用法を理解し、自分のことについて表現することができる。	教科書 ノート ファイル Talk&Talk
	Program2 Leave Only Footprints	・think (that ～)の用法を理解し、友だちの持ち物について自分の考えを表現することができる。 ・must や must not の用法を理解し、学校生活のルールなどについて表現することができる。 ・have to ～の用法を理解し、しなければならないことについて表現することができる。	
	Program3 Taste of Culture	・to 不定詞（名詞的用法）の用法を理解し、週末にしたいことを表現することができる。 ・動名詞の用法を理解し、この前の日曜日に楽しんだことを表現することができる。 ・to 不定詞（副詞的用法）の用法を理解し、クイズを作ることができる。	
	Our Project4 「夢の旅行」を企画しよう	・グループでマッピングなどを使いながら、「夢の旅行」企画の構想について即興で自分の考えを話すことができる。	
	Reading1 Gon, the Little Fox	・『ごんぎつね』の物語を読んで理解することができる。	
2 学 期	Program4 High-Tech Nature	・比較級の用法を理解し、身近なものを比べて自分の考えを表現することができる。 ・最上級の用法を理解し、自分が「もっとも～だ」と思うものについて表現することができる。 ・as ～ as…の用法を理解し、身近なものを比べて自分の考えを表現することができる。	教科書 ノート ファイル リスニング教材 教科書ワーク Talk&Talk
	Program 5 Work Experience	・how to ～の用法を理解し、自分ができることについて表現することができる。 ・〈look+形容詞〉（become+名詞形容詞）の用法を理解し、友だちの様子について表現することができる。 ・〈主語+動詞+人+もの〉の用法を理解し、自分にしてほしいことについて表現することができる。	
	Program 6 Live Life in True Harmony	・受け身（肯定）の用法を理解し、身の回りのものについてクイズを出し合うことができる。 ・by を使った受け身とその疑問文の用法を理解し、だれかによってされたものについて表現することができる。 ・by 以外の前置詞を使った受け身の用法を理解し、原料や材料について表現することができる。	
	Our Project5 こんな人になりたい	・自分たちで調べたことを元に、他のグループとチャットをして足りない情報を得ることができる。 ・読み手に伝わるように、文の順序や一貫性に配慮してまとまりのある英文を書くことができる。	
	Reading2 Friendship beyond Time and Borders	・トルコと日本の友情についての英文を読んで理解することができる。	
3 学 期	Program7 A Gateway to Japan	・現在完了（完了／肯定）の用法を理解し、友だちの依頼に理由とあわせて答えることができる。 ・現在完了（完了／疑問・否定）の用法を理解し、今日すでにしたことや、まだしていないことについて表現することができる。 ・現在完了（経験）の用法を理解し、今までにしたことのあることについて表現することができる。	教科書 ノート ファイル リスニング教材 教科書ワーク Talk&Talk
	Program8 A Hope for Lasting Peace	・現在完了（継続）の用法を理解し、ずっと続けていることについて表現することができる。	
	Our Project6 この1年で得た「宝もの」	・「この1年で得た宝もの」のテーマで、何も見ずにまたはメモ程度で、まとまりのあるスピーチをすることができる。	
	Reading3 Visas of Hope	・杉原千畝についての英文を読んで理解することができる。	

**【評価の観点と評価の方法】（通知表のつけ方）**

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価の方法	単元テスト、小テスト インタビューテスト	単元テスト、パフォーマンステスト、 ライティング課題、レポート・作品、	活動の観察、パフォーマンステスト、 ライティング課題、レポート・作品、

**【授業の受け方・学習のポイント】（担当の先生からのアドバイス）**

- ① 英語の学習では、「聞く」「読む」「書く」「話す（やり取り・発表）」力をバランスよくつけていくことが大切です。
- ② そのためには、耳、口、目、手を使って、習ったことを繰り返し復習しましょう。
- ③ 新しく出てきた単語や文の発音は、授業中に先生やリスニングCD、i-padの発音をよく聞いて、繰り返し音読して覚えましょう。
- ④ 授業中は、間違いを恐れずに、積極的に発表しましょう。学習についてわからないことは、遠慮なく質問してください。

**【家庭学習の進め方・学習のポイント】（担当の先生からのアドバイス）**

- ① 授業で習った英文、英単語を何度も音読筆写しましょう。
- ② とにかく Talk&Talk をしっかりとやりきることに！ 間違いをそのままにせず、しっかりとやり直すことが上達への唯一の道です！

